

2009年1月30日

刊行委員会決

## 刊行企画書・刊行計画書作成にあたっての留意事項

本会の出版物は別添の「刊行手続きの流れ」に従って刊行されます。

「日本建築学会の出版物」として社会発信されることを十分に留意したうえで刊行企画書・刊行計画書・目次案・原稿などの作成をお願いします。

### (1) 刊行企画書

出版物の企画がまとまりましたら速やかに執筆予定者一覧、目次案と併せて事務局にご提出ください。(提出期限 **刊行年度の前年度の11月まで**)

#### 1) 主な記載事項についての説明

企画趣旨・・・背景と目的、改定・改訂版であればその要点も具体的に記述してください。

読者対象・・・その出版物を購読する読者層を具体的にお書きください。

(例：建築材料学を専攻する大学院生、一級建築士試験受験生、全国に数百あるまちづくり関連団体、建築法規を学ぶ学部学生、実務経験1、2年目の構造技術者など)

予定頁数・・・制作費の予算立てに必要ですのでおおよその数字を明記してください。

希望初版発行部数・・・上記の読者対象を念頭におおよその数字を明記してください。

ちなみに、学会出版物の傾向として初版刊行後3年間で総売上部数のピークであり、その後は急激に落ち込みます。

予想販売見込み(年間)・・・初版刊行後3年間の売上部数の平均としてください。

#### 2) その他の説明

・執筆予定者一覧および目次案は刊行企画の概要を知るための資料ですので必ず添付してください。

### (2) 刊行計画書

刊行内容が具体化したところで序文・目次・原稿と併せて事務局にご提出ください。

(提出期限 **刊行時期の6か月前まで**)

#### 1) 主な記載事項についての説明

原稿頁数・・・制作費の予算立てに必要ですのでおおよその数字を明記してください。

希望初版発行部数・・・刊行企画書の読者対象を念頭におおよその数字を明記してください。

ちなみに、学会出版物の傾向として初版刊行後3年間で総売上部数のピークであり、その後は急激に落ち込みます。

予想販売見込み(年間)・・・同上

上記以外に説明を要する事項・・・刊行企画書からの変更点も含め、具体的にお書きください。

#### 2) その他の説明

・原稿は必ず常置調査研究委員会本委員会、特別研究委員会、特別調査委員会の審議を受けたうえで提出してください。

・序文、目次は刊行計画の概要を知るための資料ですので必ず添付してください。